

3日目 8/23(水)

本日は、朝から少し蒸し暑い1日でした。日中は33℃と日本と同じくらいの気温ですが、体感温度は低く感じます。朝晩は27℃とグッと涼しく感じられます。

朝は、Ya Kun Kaya Toastというカヤトーストの専門店にてシンガポール独特の朝食メニュー、カヤトーストにチャレンジしました。カヤジャムは気に入った生徒と、口に合わない生徒と意見が別れるメニューでしたが、良い体験になりました。

9:00 大学に移動し、午前の授業開始。チームワークの重要性について全体で話し合い、無人島で生き残る為の必須アイテムをグループディスカッションで決めて発表、その後、イノベーションと持続可能性についての講義でした。短い時間で意見を出し合い発表をする作業は、とても集中力が必要だったようです。

昼食後、キャンティーンで昼食中のNUS学生たちにインタビューをするという、アクティビティも急遽取り入れました。初対面の学生に話しかけることは難しいかと思いきや、本気でNUSの学生たちに話しかけ色々な情報ももらっていました。昼休みの短い時間にもかかわらず、最高6人の学生に声をかけた生徒もいました。シンガポール人をはじめ、韓国、中国、ブラジル、ドイツなどこの学校に留学してくる生徒はインターナショナルであることも、このアクティビティで体感してもらえたと思います。

午後は、SDGsに関する講義の中から、“質の高い教育をみんなに”と“ジェンダー平等を実現しよう”の2つの目標に焦点を当てて、グループディスカッションをしました。一人一人が、前日より一層、自分の意見を発進しようとするだけでなく、講義の後半からは、クラスが一丸となって、全員で意見を言い合えるような、互いに高め合う雰囲気を作り出していました。その後の講義は、プレゼンの作成にも役立つSWOT分析を英語で学びました。高校ではまだSWOT分析というものを学んでいない生徒が殆どでしたが、昨日の反省を生かし必死に頑張っている様子でした。“明日は今日以上に全力で授業に取り組む！”と、しおりのダイアリーに書き込んでいる生徒が沢山いました。皆積極的に取り組んでいましたが、とにかく日本語でもディスカッションするのが難しいトピックであったため、昨日の反省を100%取り返したという生徒は一人もいませんでした。まだまだ知識不足ということを感じた1日でもあり、帰国後の勉強に対するモチベーションUPにつながることを期待しています。

夕食はNUSの工学部のキャンティーンまでバスで行きました。そこでも夕食前にインタビューアクティビティを実施、勇気を振り絞って自分から話しかけ、会話をすることができた生徒達の顔は、達成感に満ちていました。夕食後に、ファシリテーターJohnのお勧めのサンセットフォトスポットを特別に案内してもらい、ホテルへもどりました。

今夜は希望者のみで、ホテルのプール・ジムでリフレッシュの一時を過ごしました。

体調の悪い生徒はいませんが、こちらに慣れてきた明日以降も体調管理や忘れ物などないように、緊張感を持続して研修に挑んでほしい旨、生徒全員に伝えました。



シンガポール朝食メニュー カヤトースト



午前中の授業で自分の意見を発表①



ディスカッションリーダーと意見交換



NUS 学生ヘインタビューアクティビティ①



NUS 学生ヘインタビューアクティビティ②



午前中の授業で自分の意見を発表②



7UP ゲーム 罰ゲームのダンス



NSU 大学校内は専用無料バスで移動



NSU 工学部のキャンティーンの中で



NUS 学生ヘインタビューアクティビティ③



NSU からシンガポールのサンセット



ホテルのプールでリフレッシュ